

奈良民商ニュース

発行 奈良民主商工会
奈良市大森西町13-16
電話0742-33-7266
FAX 0742-34-5826
HP naraminsyo.jp

みんなが安心して 年を越せるように

奈良民商は12月1日、理事会を開催し、みんなが安心して年を越せるよう訪問・対話活動を強めることを確認しました。



商工新聞を読み合わせ学習する参加者

浜中達也会長 製菓
大安寺支部Ⅱは冒頭、「秋の運動」では商工新聞読者を35人、会員3人を迎えた。教訓を生かしさらなる飛躍をめざそう」とあいさつ。議長を務めた三輪昭三共済会会長 木工Ⅱ 済美南支部Ⅱは、コロナの影響で売上が戻らず、困難に陥る会員も多い。誰一人取り残さない運動を」と提案しました。
事務局と一緒に、会費の未収の会員を訪問しよう」 コロナ支援策を知らせて、活用をよびかけよう」と話し合い、7日には統一行動にとりくむことなどを決めました。

記帳会

12月の記帳会は、下記の日程で開催します。

【日時】
12月15日(水)
13:30
【持ち物】
領収書・帳簿
筆記用具・電卓



年調学習会

年末調整の学習会を開催します。

【日時】
12月22日(水)
13:30
【持ち物】
貸金台帳
筆記用具・電卓



活動報告を行う三輪会長(左)

奈商連共済会が総会

奈商連共済会は11月26日、第39回定期総会を開催し、県下8民商から、奈良民商共済会からは三輪会長をはじめ11人がオンラインで参加しました。
三輪会長は活動報告を行い、会員の共済会加入率100%をめざして加入促進に励み、現在501人、71.3%が加入しています。おかたに病院、吉田病院などで集団健診を行い、昨年より13人多い146人が受診しました。引き続き、仲間同士、いのちと健康を守り合う共済会の活動をすすめていきたい」と述べました。

事業復活支援金

詳細未定、支給を早く!

コロナの影響で
売上が減少している皆様へ
事業復活支援金

- 法人は上限最大250万円を給付
- 個人事業主は上限最大50万円を給付

※2022年3月までの見通しを立てられるよう、コロナ禍で大きな影響を受ける事業主に、地域・業種問わず、固定費負担の支援として、5か月分の売上高減少額を基準に算定した額を一括給付します。
※上限額は、売上高に応じて三段階。売上高30%~50%の減少の上限額は売上高50%以上減少の上限額の6割となります。

※対象者：新型コロナウイルスの影響で、2021年11月~2022年3月のいずれかの月の売上高が50%以上または30%~50%減少した事業者(中堅・中小・小規模事業者、フリーランスを含む個人事業主)

※開始時期：補正予算成立後、所要の準備を経て申請受付開始予定

※給付額：5ヶ月分(11月~3月)の売上高減少額を基準に算定

※上限額

売上高減少率	個人	法人	
		年間売上高1億円以下	年間売上高5億円超
▲50%以上	50万円	100万円	250万円
▲30%~50%	30万円	60万円	150万円

お問い合わせ先：現在準備中



中小企業庁のホームページより

連日「新たな支援金は？」の問い合わせが。11月以降の売上が30%以上減少した業者に支給される「事業復活支援金」が準備中ですが、詳細は未定。支給を早く」の声を上げましょう。

チラシ300枚を配布 済美南支部



チラシを手にする川崎さん(左)

済美南支部は11月20日、統一行動にとりくみ、三輪昭三支部長Ⅱ大工Ⅱ、川崎佳世副支部長Ⅱ美容Ⅱら3人が参加。午前7時に集合し、チラシ300枚を配りました。
4月から月1回、8回目の行動で、合計2880枚を配り終えました。
川崎さんは、コロナ禍で落ち込んでいた人に「商売で困ったら民商に相談と」の声をかけて励ましたい」と話しています。